

## 2025年度 第3回 豊西小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2025年10月15日（水）午前9時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 豊西小学校 会議室
- 3 出席委員 伊藤 豪、小栗 学、松島 秀夫、渥美 麻美、田中 孝、  
水野 葉子、相羽 晃、藤田 善博、袴田 和子、鈴木 孝子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 鈴木 真人（浜松市議会議員）、下村 由紀子（トトロの森放課後音楽講座講師）
- 6 学 校 左右田 千夏（校長）、鈴木 睦二（教頭）、川合 幸恵（教務主任）、  
大澄 奈加子（CS ディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 大澄 奈加子
- 9 議長の選出  
司会の教頭（鈴木）から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長（伊藤）を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 「全国学力・学習状況調査」結果・概要報告
  - ・ 本校児童の実態の把握
  - ・ 課題と改善策について学校の説明についての質問・意見の集約、よりよい改善策について検討。
- (2) 前期アンケートの集約について（教務）
  - ・ 児童、保護者、教師の振り返りから実態把握
  - ・ 課題と改善策について学校の説明についての質問・意見の集約、よりよい改善策について検討。

### 11 会議記録

司会の教頭（鈴木）から、委員総数10人全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 「全国学力・学習状況調査」結果について

- ・ 教務主任（川合）より、4月に6年生を対象に実施された表題の試験結果について別添資料を基に説明。国語科・算数科・理科とも全国・静岡県平均とほぼ同等の結果だった。理科（3年ごとの実施）については、多問で無回答という答案が多かった。結果を受けて、今後は自分の考えを記述したり、考察し表現したりする力を大切にしたい指導をしていきたいと思う。

#### 委員からの意見

- ・ 豊西小の児童は聞く姿勢がとても良い。これが結果に表れている。（田中委員）

- ・ 要旨を把握する力は読書習慣、家庭環境によって左右されると思う。両親が多忙の場合は祖父母や地域でサポートしていくとよいのではないか。(伊藤委員)
- ・ 理科などで長い文章問題が出されると、答えにたどり着く前にあきらめてしまう児童も多くいると思う。(渥美委員) 文章を読み取る力と忍耐力が必要だと感じる。(水野委員)
- ・ 文章を書いたり表現したりすることが課題ではあるが、豊西小の児童からのお礼の手紙を読むと、力がついていると思う。(鈴木委員)
- ・ テストの内容は授業の内容をそのまま反映されたものではないようなので、国語でも理科でも、想像力が大切だと思う。(小栗委員)
- ・ 教科を通して総合的な力を図ろうとしているテストだと思う。(藤田委員) テスト結果に個人差があると思われるが、わからない子を伸ばすには学校ではどのように対応しているか？(袴田委員)  
→ どこでつまづいたか見極めて、つまづいたところから意味を考えながら底上げしていく。一度わかるとどんどん伸びていく児童も多い。6年間かけて育てていく方針。  
(教務・川合)
- ・ 結果の分析を今後の学びにつなげられるとよい。(相羽委員)

## (2) 前期アンケートの集約について

- ・ 教務主任(川合)より、1学期末に児童(タブレットによる)と保護者(さくら連絡網による)に学習・健康・生活習慣などについて行ったアンケート結果について、別添資料を基に説明。児童と保護者の意識の乖離が大きい項目はあるものの、児童の肯定的回答率がおおむね高く、児童の前向きな姿が反映されている。

## 委員からの意見

- ・ アンケート結果から、児童には素晴らしい可能性が秘められていると思う。保護者の回答については主観の相違があるので、必ずしも実態を表していないかもしれないと思った。  
(田中委員)
- ・ 教育課程が変更され、予定帳がなくなったことで、忘れ物する児童は増えたのではないか？(袴田委員)  
→ 増えていない。変更のある時は本読みカードに記入するようにしている。(教務 川合)
- ・ 学習・健康などのほか、ICT機器の活用、情報リテラシー教育が必須と感じる。小学生時代にぜひ基本を指導してほしいと考える。(水野委員)

教頭(鈴木)から、令和7年度 学校運営協議会自己評価表の提出について依頼された。(提出締め切り12月20日) また、第3回運営協議会は、2026年2月6日(水)午前9時から開催する旨の報告があった。